

# 第50回 国公女性交流集会ニュース

つながろう、輝く未来に向けて ~ IN LIVE ~

発行: 第50回 国公女性交流集会実行委員会

Mail: joseikyo@kokko.or.jp



## 【集会テーマ】

# ひろげよう連帯と共同の輪

# 誰もが大切にされる社会をめざそう

新型コロナに  
まけないぞー

## 日 程 表

6月5日(土) 13:30~(接続13:00~開始)

開会あいさつ

記念講演

基調講演

・法政大学教授上西充子さん

50回記念アトラクション

・国公専従女性役員からのメッセージ

・「これまでの歴史を振り返り、  
これからの運動につなげよう」

アピール採択

閉会



### ○開催形式

ネットを活用したWeb集会  
(全国どこからでも参加可能)

下記のZoomアカウントから参加できます  
(組合員限定)

### ○事前申込み

各単組・ブロック・県国公を通じてお申込  
ください

・・・集会資料をお送りします(5/24発送)

## Zoomアカウント

<https://us02web.zoom.us/j/85440262335?pwd=d3dvS1BQYVZrVUdVUTNoTTZsaDdxZD09>

ミーティングID: 854 4026 2335

パスコード: 094156

集会QRコード



## 接続テストのご案内

5月24日(月)の17:00~18:15に、

下記アドレスにて接続テストを行います。

Zoomの参加に不安のある方は、実行委員が  
フォローしますので、ぜひご参加ください。

<URL>

<https://us02web.zoom.us/j/84723363498?pwd=MmlNUVBnZlJmMkxKeEJLSnlrS0p0LUt0>

<ID・パスコード>

ミーティングID: 847 2336 3498

パスコード: 132680



## 上西先生に質問が寄せられました!

上西先生の講演の中では、各単組から  
寄せられた、下記のような質問に答えて  
いただきます!

- ・「嫌ならやめればいい」などの問題の  
すり替えに、どう立ち向かうべき?
- ・女性登用の目標のために、周囲からの  
期待が必要以上に重く感じる
- ・男性の組合役員として、女性  
運動にどう寄り添うべき?



## アトラクション企画 準備順調！

当日予定しているアトラクションは、「これまでの歴史を振り返り、これからの運動につなげよう」ということで、当時、社会的にも職場的にも差別を受けていた女性の要求実現に向けたとりくみや勝ち取ってきた制度、また運動の展開に併せて女性組織が出来た経緯を再確認できるような企画を準備しています。



また、この間先頭に立って運動を展開した歴代の女性役員諸先輩方からも、50回を迎えるにあたってメッセージが寄せられていますので紹介します。



## 物販好評発売中！

たくさんのご注文ありがとうございます。好評すぎて、いくつかの商品で品切れ・発送の遅れがありますのでお知らせします。  
<完売>

⑤-B：大人用マスク ワンポイントロゴ  
⑤：Divineチョコミルク、オレンジ・ミルク  
<発送の遅れ>

①：12昆虫大集合スポーツタオル→6月中旬予定

①～⑫の昆虫グッズは5/2放送の坂上&指原のつぶれない店でも紹介された、香川照之プロデュースの商品で、⑧のエコボトルはジョギングなどに最適なサイズです！

そして、本集会オリジナル商品が「コレクトケース」。記念品から普段使用にと、たくさんのご注文を頂いています。最終メ切は5月31日(月)となりますので、よろしくお願いいたします。



手ごろなサイズ！



震災にも負けず、うちわで連帯！

両集会とも「このようなただから、全国から集まり、元気を分かち合い、公務の果たす役割を確認し発信する集会にしよう」とカンパ等をとりました。

この50数年の間に大震災が2回発生しました。1995年1月17日の「阪神・淡路大震災」と2011年3月11日の「東日本大震災」です。1995年6月には第25回国公婦人交流集会在滋賀県で開催されました。本来であれば兵庫県宝塚市での開催でしたが、現地実行委員会の奮闘で会場を変更しての集会開催となり727人の参加がありました。この4年後、第29回集会在兵庫県宝塚市で開催しリベンジを果たしました。また東日本大震災の2ヶ月後の2011年5月には石川県加賀市で第41回国公女性交流集会在開催しました。被災地からの参加者も含め247人の参加でした。2年後には第43回国公女性交流集会在東北・宮城県で開催し、被災地(宮城・福島)へのフィールド

50<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

震災にも負けず  
活動を続けた女性協